

6-4
16

寫

大学設置委員会委員長殿

昭和二十三年七月二十九日

教育刷新委員会委員長 南 翠 殿

教育刷新委員会第七十四回總會において左記事項を決議した
 ので、これを報告する。
 なお、この決議の趣旨を参照せらるるよう希望する。

一 大学の国土計画的配置について

(別紙)

春山 193

大学の國土計画的配置について

昭和二十三年七月二十三日
教育刷新委員第七回總會採決

新制大学の國土計画的配置については、各地の人口、生産量並に民衆等の特殊事情を十分考慮した上でこれを決定すべきであるが、急を要すべき事情に迫られているので、一應各地の人口を主とし現在における各地の大学、高等専門学校の在学者数の実情を勘案して、別紙のような新制大学の國土計画的配置の資料を編議したものである。即ち人口のみより只の理想配置としては、第一表及び第二表によるべきであるが、大学の施設の東京、京都、大阪に偏在する事情を無視しえない立場から、第三表による配置を次善的方途と考へる。大学の配置は必ずしも校数によるべきでなく、その収容人員によることは勿論である。本委員会は、大学の國土計画的配置に關し、第一表乃至第三表を参照し、適正なる是正方針策定の指針とせらぬことを切望する。

大学の国土計画的配置について

戦後におけるわが國の新制大学の計画が、さう雑然とした現状にあることを考えて、これをできるだけ適正なものとするのが、刻下極めて重要なことと考えられる。

現在官公私立の大学、高等専門学校の総数は、六〇校以上にも及んでおるが、これらに無方針に大学に特種させることは、わが國今日の経済状況に鑑みて、さうぶる困難であると言わざるを得ない。加うるに、現在こいらの施設は、東京、京都、大阪の大都市に偏在し、地方の青年をして、母島に就学させるには極めて不便な状態にある。さうする事實から、本委員会は、あつては、さうぶる一般的目的とこれの運用上の指針とを考案したのである。

第一、全國の官公私立の大学、高等専門学校の在学者総数は、四七六、九六六人（昭和二二、四、三〇の現況）であり、この在学者の年数に相当する年数層（一八一—二三〇才）のわが國の人口は、八、八七二、七八三人（昭二一、四、二六現任）である。これはわが國の総人口の七三、二二四、一三六人に對し、二・一三%であるから、高等専門学校の在学者は、この在学者の年数層の人口の五、三六%にあつてゐる。

アメリカ合衆國においては、大学在学者の総数が、一、四九三、二〇三人（一九四三—四四年）であり、これに相當する年数層（一八一—二二〇才）の人口は、六、三六〇、〇〇〇人に對し、一五、四%にあつてゐるに比し、わが國のそれは相當低位にあるものと認められる。

次に大学を除いた高等専門学校の在学者数だけについて考察すると、三数は、三、八四、三三八人（昭和二二、四、三〇現任）であり、これに相當する年数層（一八一—二〇才）の三年間の人口は、四、九六、九六九人（昭二一、四、二六現任）に對しては、八・八%にあつてゐる。

このよつて考察から、従来の高等専門学校の在学者数と、同様の安易なで、新制大学に入学者とをさうよつにするためには、大体三の八・八%の比率と同様の安易なでさうである。故に新制大学に相當する年数層（一八一—二二〇才）の人口は、六、一九八、五六三人であるから、これの八・八%にあつてゐる数は、五〇七、一六七人である。

この数字と、現在のところ高等専門学校の在学者総数四七六、九六六人に

比べてみると、年齢層と在学者定数とを併せ考えれば、約二五%強の増加になる。
尚八二八%という目標は、今後わが國の経済状態の向上に伴い、できるだけ三三%高め
ることが望ましい。

第二、第一の考察によつてえた五〇七、一六七人を、各地方の人口に均等に配分するといわ
ゆる「理想的配置」の方式によつて、都道府縣別に配分すること、当該都道府
府縣に設置する新制大学の收容定員は、官公私立を通じて別紙第一表
の通りとなる。更にこれを地区別^{ブロック}に分類して配分すると第二表の通りと
なる。

但し右は單に人口分けを對象として配分したもので他の條件を含めていない。
第三、しかるに東京、京都、大阪の三都府における大学、高等専門学校後
在学者の現状の総数は、官公私立を通じて二六一、九八七人であつて、全國総数
の五五%弱にも及んでゐる。よつてこの数を全体から除外し、その残りも
各都府に人口に比例して均等に配分するものとすると、別紙第三表
の通りとなる。

従つて第三表に現れた数字は、大学、高等の大都府は集中の弊を防止し
矯正してよいものである。本午の調査としては、現在において、第三表の
ような配分もよむれば止むを得ないと思つても、できるだけ速に第一表或いは
第三表の配分に基づくことを希望するものである。

第四、第一、第二、第三の諸表は、單に新制大学の收容定員生徒数につい
て分けられたものであるが、この外専ら都道府縣別に考慮を拂つておられるな
いことについては、しりながら、都道府縣毎にそれぞれあるはず
の政部門に對する大学の施設を整備することは、實際とはほとんど不可能
なことである。これに對しては、できる限り各地区別に考慮することが必要で
ある。

これを要するに、新制大学の配分については、学生生徒の大都府は中央の
現状を矯正するよつて考えながら、各地方の民衆及び各地方の社会経
済的條件等の特殊事情を考慮し、更に各地区別に、各府内都府内配分
を考えたつて、第三表を適當に補正してゆくべきものと考える。

第五、今後新たに施設を整備して大学を新設する場合には、都府集中
の弊を矯正するため、東京、京都、大阪の三都府は勿論、他の地区

においても、第一乃至第三表を参照の上、既に過大の大学、高等専門学校在学者を有する地区^{ブロード}ならびに野に對しては、これら新設を抑制することが望ましい。

第六、次の實際上の方針としては、左の如き事項を参照することが望ましい。

(一) 地区の中心たる大都市の國立総合大学には、なるべくすべての部門を網羅して、その地区の文教の中心たらしめること。

(二) 各都道府県には、なるべく複合大学（或いは連合大学又は協定大学等）以下層に複合大学と称す）を置き、その都道府県の文教の中心たらしめること。

(三) 各都道府県の複合大学には必ず工学部若しくは文理学部を置き、教員養成を兼に行わしめること。

(四) 各都道府県の複合大学には、なるべく農工部若しくは農学、講座又は農学研究所を置き、地方農業者の發達に資すること。

(五) 各都道府県の複合大学には、地方の事情に應じ、農林業の外、他の産業部門の工部若しくは講座又はその研究所を置き、地方産業の發達に資すること。

に資すること。

(水産、畜産、紡織、金属、電気、機械器具、化学、窯業、

食品、鑛業等)

(六) 各都道府県の複合大学の醫學部は、地域人口の分布に應じ、なるべく均等の配置を期し、各地域保健の中心たらしめること。

(七) 教育施設の増進については、「教育刷新委員会の第五回建議事項」(文教施設の整備に關するもの)を参照すべきこと。

第七、以上の結果から、試みにこれを東北六縣について考察すれば、現状は概ね第四表の通りである。

即ち、東北六縣の大学、高専における現在の在学者数は二五、七三四人であり、この数は第一表による割当数五六、七七七人の四五%にあたるにすぎない。

第三表より計上した東北六縣の割当数三八、三二五人よりも尚二七、八一人少ない現状にある。

このような事情に思いをいたすならば、東北地区の高等教育機関は、全体として尚これを整備増充する余地があるものといわなければならぬ。

次にこれを専攻部内別にみると、教員養成諸学校の在学者数は全体の三二・五%と存っており、この部内が全国の百分比に較べて特に高く、法文経の文科系部内と高校及び一般専門の部内とが極めて低いことか注目される。よって東北地区の特殊事情を考慮した上で、この西部内の補充が特に問題の焦点となるわけである。

第一表 推定新制大学在学者数、府縣人口に對する
比列割当数表

比列割当数算式及說明

1. $\frac{\text{高專在学者総数}}{18才-20才人口総数} = \frac{384.368}{4695.609} = 0.0818$
2. 各都道府縣の18才-21才の推定人口 $\times 0.0818 =$ 各都道府縣の人口比列割当数

都道府縣名	大学高專在学者 現在数	比列割当数	都道府縣名	大学高專在学者 現在数	比列割当数
北海道	11,631	24.195	長野	4,659	14.072
青森宮城	2,513	7.556	新潟	1,814	5.966
岩手秋田	3,865	8.443	都府	39,277	11.251
山形高城	10,972	10.142	大阪	35,968	20.644
福山	2,556	8.295	奈良	13,895	19.604
茨城栃木	3,674	8.982	和歌山	2,860	5.164
群馬群馬	2,553	13.309	徳島	2,643	6.473
千葉東京	4,941	13.263	取根山	2,185	3.867
梨山	3,315	10.430	根山	2,356	5.889
山梨	2,015	10.576	岡山	4,391	10.673
静岡	2,093	14.071	広島	7,644	13.190
岐阜	9,436	13.933	山口	5,292	9.541
富山	186,992	29.017	徳島	2,554	5.753
石川	12,334	14.012	香川	2,066	6.051
福井	2,549	5.528	媛	4,732	9.579
新加	3,956	10.016	高知	2,065	5.535
三	4,701	15.677	福	16,743	20.162
富	13,523	20.249	岡	2,061	5.943
石	3,122	9.516	本	3,867	9.836
川	5,040	16.140	分	6,570	11.320
井	2,958	6.470	崎	2,185	7.974
	5,549	6.085	島	2,375	6.644
	1,982	4.826	鹿	5,894	11.305
			計	476,096	507.165

第三表 第一表より東京、京都、大阪の三都府の大学高専在学者数を除いた残余数を道県に割当した数表

本表の比例割当数算出方法の説明

(1) 大学高専在学者総数 - 東京、京都、大阪の在学者総数 = $\frac{476,096 - 261,989}{73,114,136 - 8,781,211}$

$$= \frac{214,107}{64,332,925} = 0.00333$$

(2) 各道県人口 × 0.0033344 = 三都府を除いた各道県の人口比例割当数

道 県 名	大学高専在学者の現存数	比例割当数	道 県 名	大学高専在学者の現存数	比例割当数
北海道	11,631	11,650	長野	4,659	6,755
青 森	2,513	3,627	大 阪	1,814	2,768
岩 手	3,865	4,053	京 都	39,227	-
宮 城	10,972	4,869	大 阪	35,968	-
秋 田	2,556	3,382	兵 庫	13,895	9,411
山 形	3,674	4,312	兵 庫	2,860	2,479
福 島	2,553	6,389	和 歌 山	2,643	3,108
茨 城	4,941	6,463	鳥 取	2,185	1,856
栃 木	3,315	5,009	高 根	2,356	2,827
群 馬	2,015	5,077	岡 山	4,391	5,124
埼 玉	2,093	6,755	廣 島	7,644	6,332
千 葉	9,436	6,689	山 口	5,272	4,580
京 都	186,792	-	徳 島	2,554	2,762
神 奈 川	12,334	6,926	香 川	2,066	2,905
山 梨	2,549	2,654	愛 知	4,932	4,598
山 梨	3,956	4,809	高 知	2,065	2,657
山 梨	4,701	7,526	徳 島	1,743	9,679
山 梨	13,523	9,721	香 川	2,061	2,853
山 梨	3,122	4,568	香 川	3,867	4,722
山 梨	5,040	9,748	香 川	6,570	5,434
山 梨	2,958	3,106	香 川	2,185	3,821
山 梨	5,549	2,921	香 川	2,375	3,190
山 梨	1,982	2,317	香 川	5,894	5,427
山 梨			香 川	476,096	214,257

第四表

東北六縣各縣別學校別專攻科目別學生生統數調(昭和22.6.3現在)

縣別	學校名	科系						師範系	一般	合計
		文	經濟	理	農	醫	計			
青森	弘前森林師範					327		781	781	327
	青森師範						1,049		1,049	1,049
	弘前女子師範					54		168	168	54
	小計					381		949	2,513	54
	大									
	岩手					195			195	195
	盛岡			757					757	757
	秋田				727	683			1,377	1,377
	山形							1,061		1,061
	小計					381		1,377	3,865	381
秋田	秋田縣立高森							40	40	40
	秋田師範			1,242					1,242	1,242
	秋田畜産師						1,154		1,154	1,154
	小計			1,242			1,154	40	2,556	1,200
	山形							831	831	831
	山形農林專			1,097					1,097	1,097
	山形師範				126				126	126
	山形畜産師						1,275		1,275	1,275
	小計			1,097	126		1,275		3,45	3,45
	小計			522	989	50	1,110	1,223	1,620	3,674
山形	山形							1,499	1,499	1,499
	山形							1,406	1,406	1,406
	山形							441	441	441
	山形							529	529	529
	山形							475	475	475
	山形							1,131	1,131	1,131
	山形							426	426	426
	山形							244	244	244
	山形							1,131	1,131	1,131
	山形							38	38	38
青森	青森							110	110	110
	青森							1,478	1,478	1,478
	青森							3425	3425	3425
	青森							16,891	16,891	16,891
	青森							59	59	59
	青森							681	681	681
	青森							273	273	273
	青森							1,379	1,379	1,379
	青森							161	161	161
	青森							332	332	332
青森	小計							1,540	1,540	1,540
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513
	合計	1,321	681	1,321	522	2,395	50	4,649	16,891	2,513

資料……大学及高等専門学校一覽(昭和22.4現在調査)